

資料 「農業系高校の全国報道について」

令和元年4月1日～令和2年3月31日

都道府県	学校名	活動名	報道日時	報道媒体	概要
北海道	旭川農業	木製玩具による動画紹介	令和2年5月20日	共同通信	星野源さんとの動画コラボ共演
	岩見沢農業	G. GAP 取得の取り組みについて	令和元年4月22日	日本農業新聞	GAP 取得に関わる取り組み、学校概要について、トマトケチャップの紹介
		担い手紹介	令和元年10月12日	日本農業新聞	将来の後継に向けて取り組んでいる学習、これからの抱負等
	静内農業	青春サラブレット	令和元年9月23日	TVH	サラブレットの出産からセリまで生徒の関わる様子
	中標津農業	なかのうスタイル	令和元年12月16日	日本農業新聞	SDGs まちづくりアイデアコンテストで評価を受けた地域を教材にして地域を学ぶ「なかのうスタイル」の取組を中心に、学校紹介の取材を受けた。
		第9回GAP普及大賞2019	令和元年10月9日	日本GAP協会 NEWS RELEASE	高校で大賞を取るのは全国で初
		JGAP家畜・畜産物(乳牛・生乳)	令和元年11月25日	農林水産省HP	高校で乳牛・生乳の認証を受けるのは全国で初
		DAIRYMAN寄稿	令和2年2月1日	DAIRYMAN	酪農作業の流れ動画に収め手順の理解スムーズに
	リーダーシップ寄稿	令和2年4月1日 (令和2年3月発刊)	日本学校農業クラブ 連盟事務局	乳生産が見える化! GAPでつながる安心・安全の輪	
富良野緑峰	学校紹介	令和2年7月20日	日本農業新聞	若者面で、農業高校を紹介している記事に本校が紹介された。	
青森	五所川原農林	日本の食で選手を応援	令和2年2月3日	読売新聞	オリンピック選手村への食材提供目指す。
岩手	盛岡農業	いわて短角牛フル活用	令和2年3月1日	日本農業新聞社	学校で飼育した日本短角種の革を使い、革製品の加工に取り組んだ。肉から皮までフル活用することにより、日本短角種の価値を高め、産地の振興を図る。
東京	瑞穂農芸		平成元年4月7日	日本農業新聞	地場産親子丼商品化へ「東京しゃもを用いたレトルトの親子丼」、江戸東京野菜「内藤唐辛子」を用いた瑞穂七色唐辛子。
	大島	島のレモンを守る	令和元年12月15日	日本農業新聞	農業クラブ全国大会意見発表会最優秀賞の内容の実践について
神奈川	中央農業	環境教育賞	平成30年12月25日	読売新聞	環境教育賞次世代支援部門
		おいしいコメコンテスト	平成30年12月8日	毎日新聞	最優秀賞
埼玉	熊谷農業	畜産実習	令和2年3月17日	TBSテレビ	「新型コロナ」終息いつ、家畜の世話で先生大忙し
栃木	鹿沼南	全国高校生農業アクションプラン大賞	令和元年12月19日	毎日新聞	コンクールの受賞校の紹介
群馬	勢多農林	オリンピックカウントダウン応援メッセージ	令和2年3月4日	読売新聞	オリンピックカウントダウン応援メッセージで読売新聞オンラインに掲載されている養豚部の活動が紹介された。

都道府県	学校名	活動名	報道日時	報道媒体	概要
長野	下高井農林	伝統産業「小沼ほうき」伝承の取り組み	令和元年6月18日	日本農業新聞	地域の伝統産業である「小沼ほうき」の復活・伝承に取り組む高校生について
		伝統産業「小沼ほうき」伝承の取り組み	令和元年9月24日	日本農業新聞	学校を会場に高校生が主体となって行った「ほうきサミット」について
	下伊那農業	果樹班の研究	平成31年1月21日	日本農業新聞	ブドウ「シャインマスカット」、梨「南水」氷温食品で認証取得
	南安曇農業	新たな産業の仕組み作りへの挑戦	令和元年5月24日	帝国タイムス	南農の生徒の研究を地元企業と行政がサポート そばの研究
岐阜	岐阜農林	生徒が”先生”GAP取得	令和元年6月6日	日本農業新聞	GAPを学ぶ生徒が地域の農業者のGAP認証取得を支援する「高校生アドバイザー」としての活動を始めた。農林水産省も「GAP教育への地域への波及効果を感じる」と期待を寄せる。
		GAPトリアージ農家を後押し	令和元年8月14日	日本農業新聞	GAP認証取得を「高校生アドバイザー」として支援する生徒たちが「GAPトリアージ」の手法を考案し活用している。改善の緊急度合いに応じての支援は高い評価を得ている。
京都	桂	京野菜の栽培につちえ	令和2年6月17日	NHK Eテレ	京野菜の栽培と普及活動について、芸能人が本校を訪れた体験活動を行った。
	須知	第36回日本菊花全国大会	令和元年11月5日	産経新聞	第36回日本菊花全国大会の審査が行われ、本校からは食品科学科園芸加工専攻の生徒が出品した。三本立花壇の部、福助花壇の部で優れた成績を残し、産経新聞朝刊で報道された。
大阪	農芸	育てたカモ 感謝と「ごめんね」	令和2年2月16日	朝日新聞（全国版・朝刊一面）	「いま子どもたちは」シリーズで「命をいただく（第1弾）」。資源動物科の総合環境部の生徒を紹介。ブランド鴨の「農芸鴨」を刷り込みから飼育、屠殺・解体、調理販売まで全ての過程を一貫して携わり「命の大切さ」を学ぶ。1年次にはじめての屠殺した時のこと。2年次では食育教育ファームで近隣の中学生に農と食と命について伝える活動を。3年次は、企業と連携し自ら育てた鴨を調理し高校生レストランを運営。命に対する感謝を更に深く実感。将来はアイガモ農家になることをめざし、農業大学校への進学する。
		酪農の楽しさ、子牛に教わった	令和2年2月17日	朝日新聞（全国版）	「いま子どもたちは」シリーズで「命をいただく（第2弾）」。資源動物科の酪農専攻の生徒を紹介。出産した子牛の飼育を通じ、子牛を育てるための牛乳を私たちは分けてもらっていることを実感し、牛乳の大切さと「いただきます」の意味をかみしめる。そして近隣の小中学校での食育活動に力を入れ、給食時の牛乳飲み残り削減活動も展開する。
		豚の幸せ 養豚場でも考え続ける	令和2年2月18日	朝日新聞（全国版）	「いま子どもたちは」シリーズで「命をいただく（第3弾）」。資源動物科の養豚専攻の生徒を紹介。ブランド豚として「農芸ポーク」を育て、百貨店や校内で販売。しかしストールを設置する飼育環境に疑問を持ち、放牧による養豚を訴え意見発表にも参加。卒業後は豚の幸せを願い接するために、出産から出荷まで見守るために小規模の養豚場に就職先を決めた。
		エコ飼料製造供給ブランド化に貢献	令和2年1月3日	日本農業新聞	資源動物科の酪農専攻で生産した発酵飼料「ワインかすサイレージ」が、養鶏農家のブランド卵「なにわワインたまご」の生産を支えている。食品残渣をいかし循環型農業に貢献したい生徒の願いと、特徴ある特産品づくりをめざす養鶏農家の願いが一致した取り組み。
		自ら問い見つけ解決	平成31年4月21日	日本農業新聞	資源動物科の酪農専攻の生徒が、大学のA0入試のテーマにふるさと納税を取り上げ、「顔の見える牛乳」と称し、少子化による廃校グラウンドを活用して小規模酪農の地域住民による操業と地域貢献を策をつくり、この取り組みで大学に合格した。
兵庫	但馬農業	農業クラブ繁殖和牛班	令和2年1月14日	日本農業新聞	子牛の首に巻いた体温維持用のマフラーの共同研究
			令和2年2月26日	日本農業新聞	大豆油かす+バミューダグラスで丈夫な和子牛出産
奈良	賀名生分校	学校紹介	令和元年6月3日	NHK	おはよう日本
徳島	那賀	林業学習	令和元年度発刊	林業白書	本校の林業学習の取り組みが、令和元年度版の林業白書に掲載されています。
高知	高知農業	体育祭	令和元年10月9日	NHK（おはよう日本）	高知農業高校の体育祭の模様について

都道府県	学校名	活動名	報道日時	報道媒体	概要
福岡	糸島農業	根っこ部の取組（根こぶ病対策支援事業）	令和元年1月4日	日本農業新聞	地域と連携した根こぶ病対策支援活動の取り組み
宮崎	小林秀峰	全国和牛ハイスクールサミット	令和元年11月	肉牛ジャーナル	第1回全国和牛ハイスクールサミットinこばやし
鹿児島	市来農芸	和牛甲子園	令和元年12月18日	朝日新聞	和牛甲子園への高校牛児の取組
			令和2年1月18日	日本農業新聞	和牛甲子園優勝
			令和2年1月21日	食品産業新聞	和牛甲子園優勝
沖縄	八重山農林	命の授業	令和2年3月11日	フジテレビ	タレントの水原希子さんが、3日間転校生という設定で本校の授業に参加する。豚やブロイラーの飼育から解体・加工、販売までの学習を体験し、「命」について再認識し、農業高校の学習内容を学ぶ。